

初夏の行楽に「吉野宮滝の旅」

万葉集と新元号

「吉野」と聞けば、誰しもが桜の吉野山を思い浮かべるだろう。だが、新元号の出典の万葉集が詠む吉野は山ではなく「水の吉野」。吉野の川の美

滝溪谷。実



白泡の玉と響く美しき清流



宮滝溪谷

に不思議な地形である。持統天皇は、天武・持統朝の原点ともいえる吉野へ行幸したことも有名。その数は30回以上にも及ぶ。宮滝へは、大和上市まで電車で行き、一日2便の住民バスに乗って15分ほど。周囲には寺も神社も温泉も多いが5月の吉野は訪れる人もまれ。溪谷には薬に降りてゆく道があるが、飛び込みの名所としても知られる秘境だ。ゆっくり寝て帰れば楽。初夏、万葉の地を訪ねるのもいいかもしれない。